

Quick Pro

クイックプロ

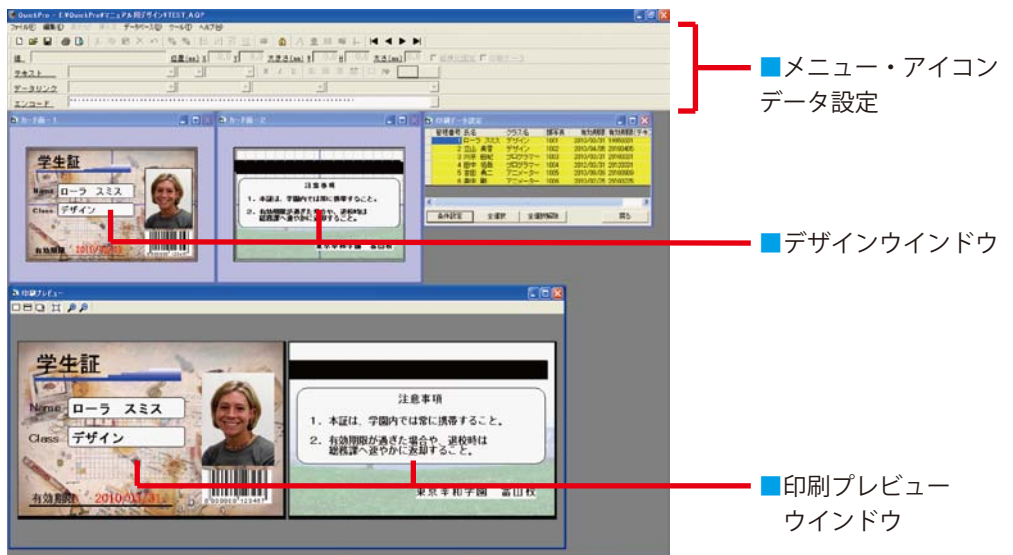


カラーフォトIDカード発行ソフト Quick Pro は、カード社会のニーズに応じて顔写真入りのIDカードを美しく簡単に発行できるカード発行用のアプリケーションソフトウェアです。会員証、社員証、学生証などあらゆる場面で利用できます。また、バーコードの印刷、磁気カードへのエンコーディングにも対応しています。

Quick Pro の特長

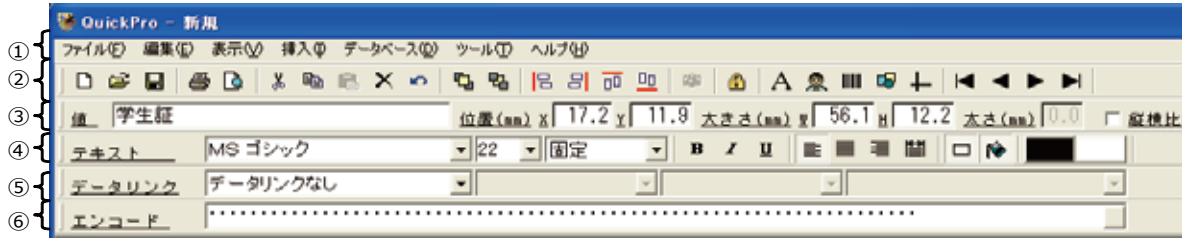
- 表面（おもて）と裏面を同時に編集できます。プレビューも同時表示、両面を一度にデザインできます。
- バーコードに対応しています。JANコード、CODE 39、NW-7さらにQRコードにも対応しています。
- TWINに対応していますのでスキャナやデジタルカメラ等の外部機器から写真や絵などを取り込みカードレイアウトに貼り込むことが簡単にできます。
- 社員証や会員証などの情報が登録されているデータベース（*.mdb/*.accd）への接続に対応しています。
- テキスト形式やCSV形式のデータの取り込み（インポート）や書き出し（エクスポート）が可能です。
- デザインウィンドウを表示しながら、印刷プレビューウィンドウやデータ設定ウィンドウを同時表示して編集作業を進めることができます。編集結果は、すぐに印刷プレビューに反映されるので、印刷イメージを確認しながら編集を行うことができます。
- 磁気エンコード機能に対応しています。（JIS II型、Hi-Co、Lo-Coに対応しており、プリンタドライバで選択可能です。）
- メニューやアイコンの配置は、Windowsの標準スタイルを採用しています。Windows PCに慣れたユーザなら親しみやすく、簡単に使うことができます。

Quick Pro





■メニュー、アイコン、プロパティ



①	メニューバー	カードデザインファイルの操作（新規作成、開く、保存）や印刷、カット、コピー、ペースト、部品の挿入（配置）、データベースのリンクデータ表示操作などを行います。
②	アイコン	よく利用されるメニュー機能をアイコンで簡単に操作できます。
③	値	テキストやバーコードデータを入力設定。表示位置の設定等を行います。
④	その他 プロパティ	配置したパーツの設定を行います。テキストを選択している場合には、フォントの種類、サイズ、タイプの設定や変更が行えます。バーコードを選択している場合には、バーコードの種類、サイズなどの設定や変更を行うことができます。
⑤	データリンク	データベース（MS Access, Excel）との接続時の選択されている情報の表示を行います。
⑥	エンコード	この欄は、磁気エンコードが選択されている場合に表示されます。エンコードデータの設定や変更を行うことができます。

■動作環境

動作環境は以下の通りです。
日本語版 Windows XP (SP3)、
Windows Vista、
Windows 7、
Windows Server 2003
(Internet Explorer 6.0 以上が正常に動作するパソコン)

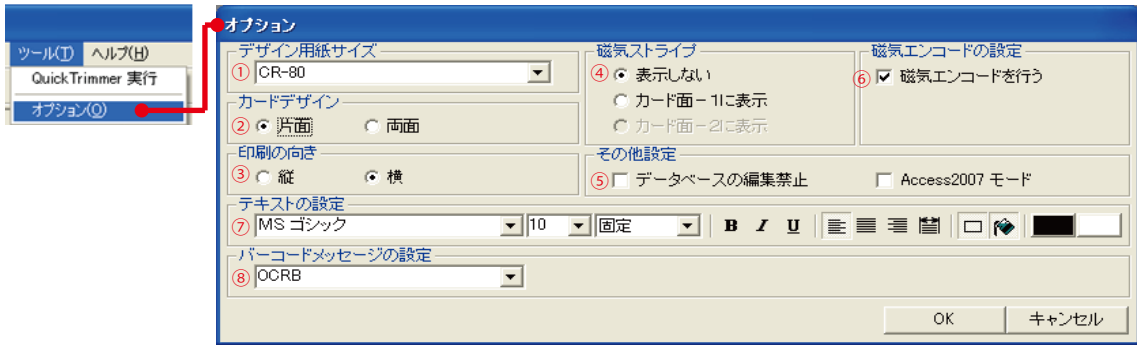
■データベース環境

既存の Microsoft Access (バージョン 2000 以降) のデータファイル (*.mdb または *.accdb) 及び Microsoft Excel のデータファイル (*.xls) に直接接続してデータベースとして使用できます。Microsoft Access がインストールされていない環境でも Access データベース構造を作成することができます。また、接続した Access データベース・ファイルへ CSV または TEXT ファイルのインポート/エクスポートおよびデータの変更、追加、削除が可能です。

※Excel データ・ファイルの操作については本ソフトからはできません。Microsoft Excel を起動して操作してください。

※Microsoft Access 97 以前のバージョンがインストールされている環境では、本ソフトは正常に動作しません。

■カードタイプ情報



①	デザイン用紙サイズ	C R - 8 0 (デフォルト) / プリンタの用紙サイズに合わせるの何れかを選択します。 ※通常は、デフォルトの C R - 8 0 (J I S II 型標準カードサイズ) を選択します。
②	カードデザイン	片面 / 両面の作成タイプを選択します。
③	印刷の向き	横置き / 縦置きの何れかを選択します。
④	磁気ストライプ	磁気ストライプ付きのカードデザインの場合に、目安となる磁気ストライプを表示するかを選択します。また、表示する場合には、どちらのカード面に表示するかを選択します。 ※印刷が両面タイプの場合、カード面 - 1 から印刷されます。
⑤	その他の設定	「データベースの編集禁止」にチェックすると、データベースの作成、テーブル作成、データ編集ができなくなります。 「Access2007 モード」にチェックすると、ACCDB をデータベースとして利用することを選択したことになります。チェックされない場合には、MDB の利用が選択されます。 ※但し、システムを利用している途中で、MDB から ACCDB、ACCDB から MDB への切り替えはできません。
⑥	磁気エンコードの設定	磁気エンコードを行うかどうかを選択します。
⑦	テキストの設定	テキスト文字のフォントタイプ、サイズの情報や、配置（左寄せ / 中央揃え / 右寄せ / 均等割付）、文字色等を設定します。 ※固定 / 自動 / 自動縮小は、データベースへのリンク時に有効な機能です。 自動：配置したエリアの拡大縮小に応じてサイズが自動で変わります。 自動縮小：配置したエリアの大きさからはみ出さないように自動で縮小します。 (上記の動作の結果は、印刷プレビューウィンドウでのみ確認することができます。)
⑧	バーコードメッセージの設定	バーコードシンボルの下部に表記するメッセージのフォントタイプを指定します。

■FARGO®プリンタ

本ソフトは、以下のカードプリンタに対応しています。

- 再転写プリンタ
HDP 5000
- ダイレクトプリンタ
DTC 4500
DTC 1000
DTC 550
DTC 400 e / 400
Persona C30e / C30
DTC 300



製品改良のためカタログ記載内容は予告なしに変更されることがあります。また、本カタログ記載の他社登録商標・商標をはじめ、会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。